

会社概要 (2025年9月30日現在)

社名	株式会社千葉銀行
設立	1943 (昭和18) 年3月
本社所在地	千葉市中央区千葉港1-2
従業員数	4,271人
発行済株式数	805,521千株
総資産	20兆8,517億円
資本金	1,450億円
総自己資本比率	連結15.79% 単体14.93%

※諸計数は原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

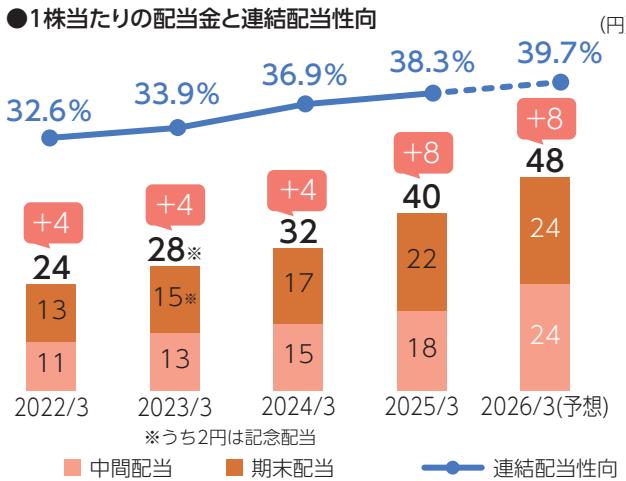
株主還元について

配当に関しては、配当性向を40%程度といたします。

2026年3月期の1株当たりの配当金につきましては、年間8円増配の48円とすることを予定しております。

自己株式取得に関しては、機動的に実施します。

●1株当たりの配当金と連結配当性向



株式情報 (2025年9月30日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権：毎年3月31日 期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
公告方法	電子公告 (当行ホームページ https://www.chibabank.co.jp/) ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株式事務取扱場所	株主名簿管理人・事務取扱場所 〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 お問い合わせ先 ☎ 0120-782-031



一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする

2025

ミニ・ディスクロージャー誌

2026年3月期 営業の中間ご報告

株主優待のご案内

対象株主	毎年3月末現在、1,000株以上を1年以上継続保有の株主さま。 ※「1,000株以上を1年以上継続保有」の確認につきましては、毎年3月末および9月末の当行株主名簿に、同一株主番号で1,000株を下回ることなく連続して3回以上記録されることといたします。				
制度内容	以下のコースより、いずれかをお選びいただけます。				
	<p>特産品</p> <p>①千葉県特産品コース 千葉県の特産品等を掲載したカタログからお好みの商品をお選びいただけます。</p> <p>②C-VALUE特別企画特産品コース ちばぎん商店が取り扱う千葉発の新たな特産品等を掲載した別冊カタログからお好みの商品をお選びいただけます。</p> <p>③TSUBASAアライアンス共同企画特産品コース 第四北越銀行・中国銀行・伊予銀行・東邦銀行・滋賀銀行・群馬銀行の地元特産品等を掲載した別冊カタログからお好みの商品をお選びいただけます。</p> <p>寄付</p> <p>④寄付コース SDGs達成に資する取組みを行う団体や基金の中から寄付先をお選びいただけます。</p>				
優待基準	<table border="1"> <tr> <td>1,000株以上10,000株未満保有</td> <td>①③特産品 (3,000円相当) ④寄付額 (3,000円)</td> </tr> <tr> <td>10,000株以上保有</td> <td>①②③特産品 (6,000円相当) ④寄付額 (6,000円)</td> </tr> </table>	1,000株以上10,000株未満保有	①③特産品 (3,000円相当) ④寄付額 (3,000円)	10,000株以上保有	①②③特産品 (6,000円相当) ④寄付額 (6,000円)
1,000株以上10,000株未満保有	①③特産品 (3,000円相当) ④寄付額 (3,000円)				
10,000株以上保有	①②③特産品 (6,000円相当) ④寄付額 (6,000円)				



Waterless
Printing. Naturally.
有機溶剤等を使用しない
環境にやさしい「水なし印刷」で印刷しています

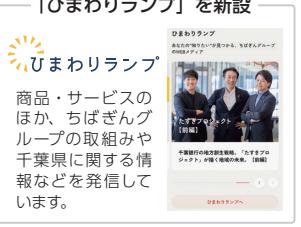


ミックス
紙 | 真任ある森林
管理を支えています

＼2025年8月／ ホームページを全面リニューアル！

「必要な情報がすぐ見つかり、お取引がトントン拍子に進む」がコンセプト

【イメージ画像】



URL: <https://www.chibabank.co.jp/>



第15次中期経営計画の概要

パーカス

一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする

ビジョン

地域に寄り添う エンゲージメントバンクグループ

第15次中期経営計画 エンゲージメントバンクグループ ~フェーズ1~

計画期間: 2023年4月1日~2026年3月31日

パーカス・ビジョンの実現に向けて、今中期経営計画では「お客さま中心のビジネスモデルの進化」を取組指針に掲げ、3つの「基本方針」を軸にお客さまサービスのさらなる向上を図るとともに、その基盤となる5つの「価値創出の基盤」の強化と拡充に取り組んでいます。

基本方針

地域への社会的価値の提供を通じた「サステナビリティ経営」の実践

I 最高の顧客体験の創造

II 既存事業の質の向上

III 新たな価値の提供

価値創出の基盤

「価値創出の基盤」を拡充

I DX

II GX

III アライアンス

IV 人的資本

V グループ・ガバナンス

進捗状況を踏まえ、当行グループでは今中期経営計画の最終年度目標を当初より上方修正しています。また、2030年度に掲げた長期目標については、前倒しの達成を見込んでいます。

〈主要計数項目〉

	前中計		今中計		2030年度に 目指す水準
	2022年度 (実績)	2023年度 (実績)	2024年度 (実績)	2025年度 (中計最終年度目標)	
連結ROE (株主資本ベース)	6.38%	6.40%	7.34%	7%台前半 → 8%台前半	8%程度 → 2025年度達成見込み
親会社株主に帰属する当期純利益	602億円	624億円	742億円	750億円 → 850億円	1,000億円 → 次期中計期間中達成見込み
連結業務純益	818億円	917億円	1,047億円	1,200億円 → 1,219億円	—
連結普通株式等Tier 1 比率※1 (バーゼルⅢ最終化適用前)	10.57%	11.87%	11.97%	10.5% ~ 11.5%※2	—
連結OHR	47.37%	48.76%	46.47%	45%程度	—

※1 バーゼルⅢ最終化完全実施ベース (有価証券評価差額金除き)

※2 2029年3月末に向けレンジ収束を目指す方針

業績ハイライト (2025年9月期)

財務ハイライト

経常利益 (連結)

643億円

前年同期比 +100億円

総自己資本比率 (連結)

15.79%

前期末比 +0.75%

貸出金残高 (単体)

13兆8,180億円

前期末比 +5,847億円

親会社株主に帰属する 中間純利益

442億円

前年同期比 +64億円

ROE (連結・株主資本ベース)

8.44%

前期末比 +1.09%

預金残高 (単体)

16兆3,096億円

前期末比 +408億円

非財務ハイライト

サステナブル・ファイナンス※実行額

累計2兆1,594億円

うち環境系ファイナンス実行額

累計1兆1,124億円

※環境課題や社会課題の解決を資金使途とするファイナンスおよびお客さまのサステナビリティ経営への取組みを支援するファイナンス (投融資・リース取引等)

女性活躍推進 (2025年7月現在)

18.9%

管理監督者女性比率

30.8%

リーダー職※以上女性比率
※支店長代理など、部下をもつ職務にある職員およびそれと同等の地位にある職員であり、担当業務の責任者として組織の職責を担う者

TOPICS

千葉興業銀行と

「経営統合に関する基本合意書」を締結

2025年9月、当行は、千葉興業銀行と持株会社設立による経営統合に関して、基本合意書を締結しました。

本経営統合は、千葉県ならびに首都圏に顧客基盤を有する両行が統合することにより、地域の新たな銀行グループへのステップアップを目指すものです。両行それぞれが強みとする商品・サービスやノウハウ、および両行の経営資源の相互活用を通じて、お客さまや地域にこれまで以上の顧客体験・付加価値を提供することで、両行が掲げるパーカスを実現していきます。

今後も、「信頼と尊重の2ブランドによる地域金融力の強化」の実現に向けて、協議・検討していきます。



左から、当行・米本頭取と千葉興業銀行・梅田頭取

TSUBASAアライアンス発足10周年!

2025年10月、TSUBASAアライアンスは発足から10周年を迎えました。基幹系システム共同化から始まった連携は、FinTech共通基盤の構築や事務の共同化、相続関連業務、国際業務など、多様な分野にわたって拡大しています。そうした中、2025年3月末時点のアライアンス行全体の総資産残高は約100兆円、預金残高は約80兆円、貸出金残高は約60兆円に達しています。

今後も、これまでの枠にとらわれることなく、アライアンス行とのさまざまな連携を拡大させながら、さらなるスケールメリットを追求していきます。

